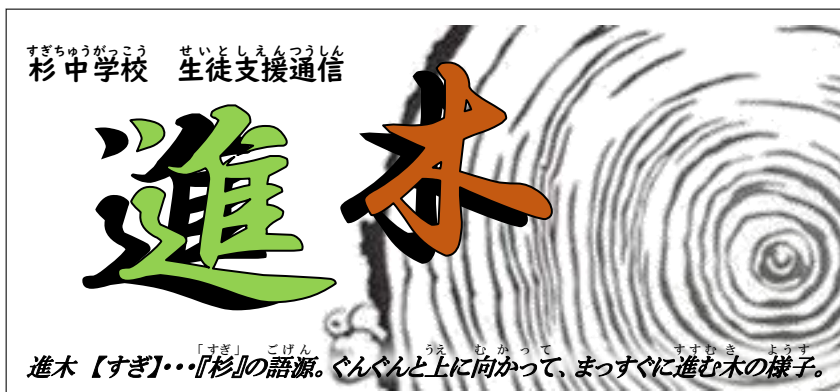




第10号
2025年10月 発行

学校でいじめが0になるように ★すぎーね ★ ～1年生 version～

杉中学校で毎学期に実施予定をしている「いじめ防止授業」を9月16日に実施しました。1学期に引き続き、2回目の「いじめ防止授業」でした。改めて「いじめの定義」や「いじめの四層構造」についてを確認し、「いじめの事例」から被害・加害・傍観者の立場になって自分で考え、ほかの人の意見を交流し、いじめが起こらないためにはどうしたらよいか…、いじめが起こってしまったときにどのように解決すればよいか…、などについて考えました。

一部ですが、1年生の生徒たちの振り返りを紹介します。自分事として、より深く考え、これからの言動に繋げることができました。

自分たちのノリでエスカレートする前に、自分でいやと伝えて、言ってる側なら自分でも気づけるように発言や行動を考える。

あいさつ、ごめなさい、ありがとうを口頭から言う。
何かしてしまったことに対して、「ごめなさい」を言えないと、また何か問題がおきる。相手が苦痛に思ってしまうから。

今まで以上にいじめはこういうところから始まるんだと感じた。
小さい頃からどしゃくで、よく死にいたる人いるんだと思い絶望した
らいけんことやと思った。

一つ一つの言葉に気をつけて、友達との誤解(悩んでいる、
話しが合わない、暗いなど...)に注意する。

みんなが右に仲良くいることが一番大事のためには、みんな
が意見を言いやすい、空気のクラスにできるようなする。
注意、あつこでできるクラスにするのも大切なことだと思います。

やっぱりいじめはよくないし、最近1番こわいと思ったのが、
SNS・スマホ・インターネットです。インターネットの世界では、
現実で言えないことをかき回すと言えてしまう。言ったことを消すこと、
上げてしまふ、写真や動画を消すことができないから、心のきずも消えないと思われ。

いじめには「被害者」「加害者」「観衆」「傍観者」があることがわか
た。いじめには、心身も傷つき、それが一生の傷になるかもしれない
と思うと怖かった、杉中学校からいじめをなくしたいと思った。

インターネットの投稿では簡単に保身したりすることができて、悪いの
気持でやっても「はい、いいえ」に繋がらないことがよく
わかった。許可や一声かけるなど、自分の行動が大切にすることもわかった。

人によって気持ちやバウバウだから、自分の考えと
相手の考えがズレてしまうことがあると分かった。あ
いさつとかかんしゃとか、ふつうにいえるようになったら
いいなと思った。

いじめはダメだと思ったし、今からいじめを意識して、なくせるようにしたい。
自分も、ポスターを作ったり声をかけて防止できるから日本をまきこでなくせるいじめも
あると思うから、がんばりたい。不幸になるいじめは、誰も得をしないし、誰もよめ
ない、うれしくない、なくせるようにくふうできるところはくふうしてダメはる。

じごう ぼうしじめぎょう ねんせい しょうかい
次号『いじめ防止授業～2年生version～』をご紹介します。